




アブラキサン+ゲムシタビン療法

治療のスケジュール

※症状や経過に合わせて
お休み期間は変わることがあります

外観	お薬名	点滴時間	薬の効果	スケジュール			
				1日目	8日目	15日目	16~28日目
	吐き気止め	10分	吐き気を抑えます				
	アブラキサン (成分名：パクリタキセル)	30分	がん細胞の増殖を抑えます	○	○	○	お休み※
	ゲムシタビン (成分名：ゲムシタビン)	30分					

アブラキサンの特徴

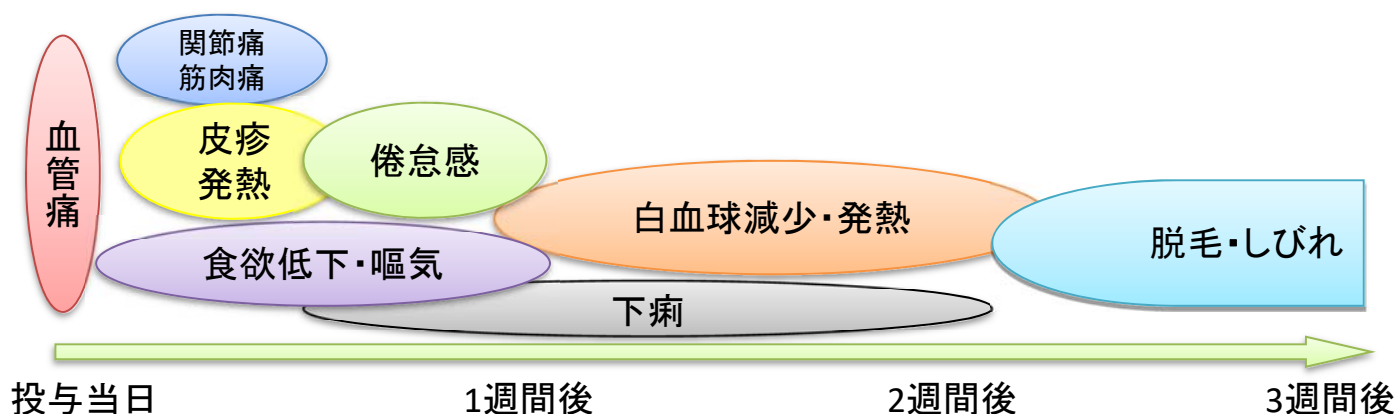
- パクリタキセルという抗がん剤に、人の血液の中にあるタンパク質であるアルブミンを加えることで水に溶けやすくしたり、投与中に起こるアレルギーを減らしています。

※他の薬剤に比べて調製に時間を要するため、
お待ちいただく時間があります、ご理解お願いいたします。

！ 点滴中の注意

- 点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合は早めに医療スタッフまでお知らせください。
- 投与中にアレルギー症状が起こることがあります。
点滴投与中に息苦しさや顔のほてり、吐き気・気分不快などの症状があらわれた場合は我慢せずに医療スタッフまで申し出てください。

起こりやすい副作用の発現時期と対処



皮疹

- 点滴2-3日後にしん麻疹のような赤い湿疹やかゆみが出ることがあります。
- 腕の内側や太もも、胸や腹部・背部などやわらかい部分に多くみられます。
- 症状が現れた場合は、病院に連絡ください。

発熱

- ゲムシタピン点滴2-3日後に一時的に37℃台の熱が出ることがあります。
- 通常は自然に解熱することが多いのですが、半日たっても熱が下がらない・38℃を超えた場合は病院に連絡ください。

食欲不振・吐き気・おう吐

- 投与日から1週間後ごろまで、食欲が落ちたり、吐き気やおう吐といった症状が見られることがあります。
- 無理せずに、食べやすいものを少しずつ食べるようにしましょう。
- 吐き気止めが処方されている場合は、指示通り内服してください。

疲労感

- だるい・からだが重い・疲れやすいと感じることがあります。
- 疲れたなと思ったときは、無理せず、ちょっと横になるなど、休息をこまめにとるとよいでしょう。

しびれ・関節痛/筋肉痛

- 点滴2-3日後、一時的に関節・筋肉痛が現れることがあります。痛み止めで症状を軽くできる場合もありますので、ご相談ください。
- 点滴治療3回目ごろから、手首から指先・足首から足先にかけて刺すようにしびれたり、感覚が鈍くなることがあります。
- 治療が続くにつれて、しびれが強くなったり長く続く傾向があります。
- 箸が持ちにくい、ボタンがかけづらい、つまずきやすいなど日常生活に影響がある場合はご相談下さい。

白血球の減少・貧血・血小板の減少

- 点滴後1～2週間ごろに最も白血球が減少し感染症にかかりやすくなります。
- 予防のため外出の際は人ごみを避け、こまめにうがい手洗いをしましょう。
- 息切れ・動悸などの貧血症状が現れた場合は、体を休めるようにしましょう。
- 血小板が減少すると体にあざ・赤い斑点ができやすくなったり、鼻・口の中が出血しやすくなります。転倒やケガに注意し、鼻かみや歯磨きはやさしく行うようにしましょう。

下痢

- 点滴を始めて4日目ごろから下痢や水っぽい便が出る場合があります。
- 症状があらわれた場合、脱水予防のためスポーツドリンクなど塩分を含んだ飲料水で水分補給を行って下さい。
- 発熱や腹痛・嘔吐を伴うときは、必ず病院に連絡してください。

脱毛

- 個人差はありますが、抗がん剤投与後2～3週間ごろから髪の毛や体毛が抜けやすくなります。あらかじめ帽子やかつらなどを準備しましょう。

間質性肺炎

- ごくまれに間質性肺炎が起こることがあります。
- 家事などの日常生活動作だけで息切れがする、息が苦しい感じがする、空咳がとまらないなどの症状があらわれた場合、すぐ病院にご連絡下さい。



このような症状が現れたら、必ずご連絡ください

- 38度以上の発熱があるとき
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じる時
- 1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- 吐き気止めの薬を内服していても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- 1日7回以上の下痢があるとき
- 点滴した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- 皮膚に発疹やじんましんが出てきた



病院へ電話する前に確認しましょう

- ①診察券番号
- ②おかけの診療科
- ③主治医の名前
- ④抗がん剤治療中であること
- ⑤気になる症状（具体的に）

連絡先

横浜市立大学附属病院

電話：045（787）2800（代表）

《平日8:30～17:00》

おかけの診療科外来を
伝えてください

《平日の夜間および休日》

救急外来と伝えてください

※ここに診察券の内容を写しましょう

□	□	□	—	□	□	□	—	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---

お名前

